



水土里情報を活用した事業申請農地の確認図面作成事例を紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：北杜市、水土里ネット山梨

## 取組概要

内容：水土里情報で整備した農地筆データと山梨県水土里情報利活用推進協議会により共同整備したオルソ画像を活用し、環境保全型農業直接支払交付金に申請した農業者又は農業者団体の農地を確認するための図面を作成。

経緯：①市担当者が現地調査を行う際は、平成24年に印刷した図面で事業申請農地の土地所在を調べ、対象地に色塗りをするなど、多大な労力が必要であった。

②市担当者より現地調査用図面を簡単に作成する方法が無いかと相談があり、水土里情報の農地筆データが整備済みであったことから、申請対象地の情報入力を行い図面作成が出来る事を提案。

### 【作成図面】

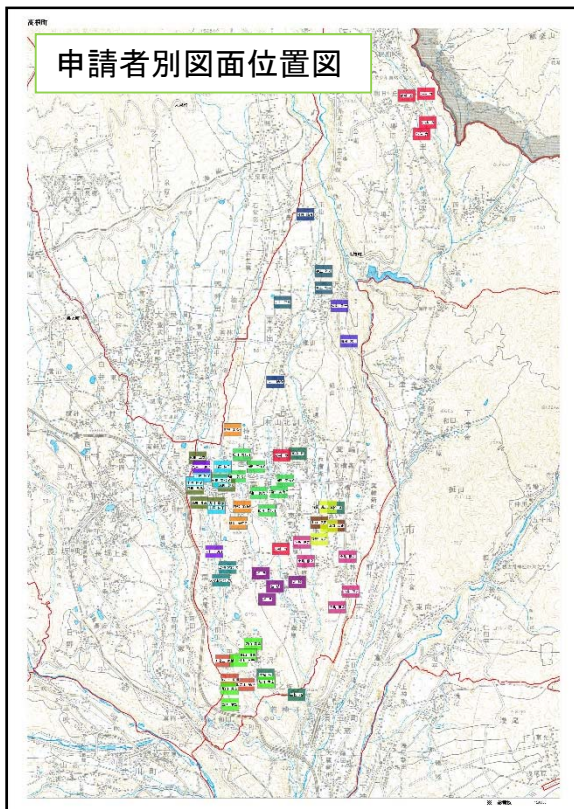
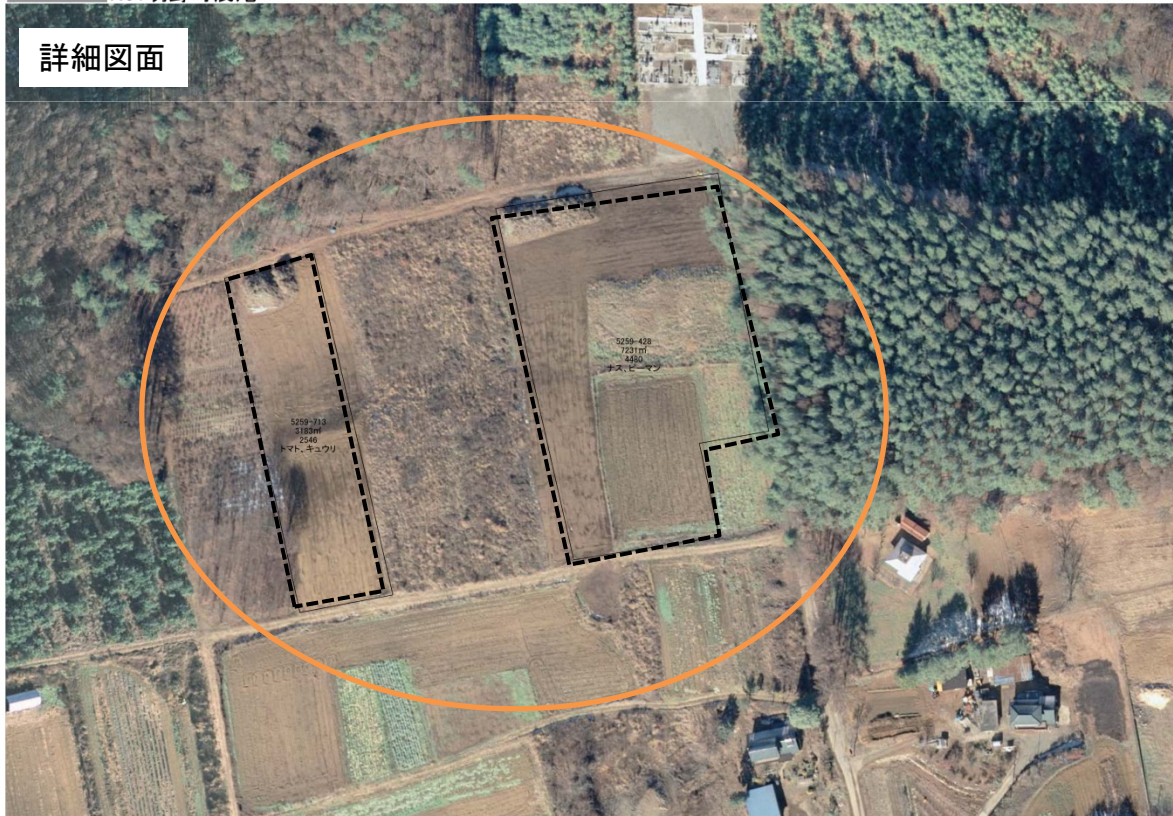


図1\_旧町村図面



図2\_詳細図面位置図

## 詳細図面



凡例  
 圃場地番  
 地積  
 ①取組面積  
 ②作付面積  
 ③取組面積  
 ④作付面積

図3\_詳細図面

※ 参考図 1:1000

※農地に記載の情報は、凡例の順に地番・地積と1年間で栽培される農作物の取組面積、作付作物について3品目を記載。

## 期待される効果

旧町村図面(図1)、詳細図面位置図(図2)より現地へ効率の良い調査計画が立てられ、詳細図面(図3)ではオルソ画像、対象農地のみを表示しているため現地位置、申請者、作物情報の確認が容易となる。

## 今後の活用予定

今後は、現地確認・作付け調査など各種調査図面の作成を推進すると共に、調査結果のデータベース化を行いシステムによる一元管理を推進していきたい。

## ■お問い合わせ先

山梨県土地改良事業団体連合会 業務部 事業課

055-235-3653(代表)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝)

03-6744-2201(直通)